

■地域の方と一緒に、学び育つ南っ子（志津南小学校）

1 【活動の趣旨】

地域の方を指導者として学習に迎え入れたり、直接地域に出かけ様々な場所やもの、人と触れ合ったりすることを通して、地域に親しみ愛着を深めることをめざす。

2 【特徴的な活動内容】

（1）「りょうぶの道散策」（4年生）

「NPO シニア自然大学校 京とおうみ自然文化クラブ」の方々にご協力いただき、地域の方も加わって、自然豊かな「りょうぶの道」（若草緑地）の散策をおこなった。秋の木々や葉、実っている実や草花等について、その場で説明していただいた。



【りょうぶの道散策】

（2）立命館大学との交流（全学年）

「立命館大学 BKC 地域連携課」の方のご協力で、1年生から5年生は、学生の方々に小学校に来ていただき、ダンスや紙飛行機制作、プラネタリウム等を体験させていただいた。6年生は、大学キャンパスに行き、大学内の施設等の見学や体験学習をさせていただいた。

3 【実施に当たっての工夫】

地域コーディネーターや担当していただく地域の方々と、事前の打ち合わせを実施した。打合せの際には、感染予防を意識し、マスクの着用や手指の消毒の徹底、そして活動の際にも、同様の対応を大人も子どもも行った。また、地域の方も参加いただけるように、地域コーディネーターを通して、地域の方への呼びかけをお願いした。

4 【事業の成果】

「りょうぶの道」散策では、小学校区内にある自然豊かな道を歩きながら、専門の方々から秋の木々や落ち葉、草花等について直接説明を聞くことができ、児童の実体験として良い学習の場となった。

立命館大学との交流については、学年のニーズに合った内容で、年齢が近い学生の方々に教えていただいたり、触れ合ったりできることは、児童が物事に興味を持つ良い経験の場となった。大学キャンパス見学も6年生児童にとっては有意義な時間となった。

地域コーディネーターを通して、地域の方にも行事に参加していただけるように声かけをお願いし、いろいろな方に参観いただく機会が増した。

5 【事業実施上の課題】

地域の方と学校との話し合いの中で、互いの思いや意図をしっかりと確認して実践することが大切である。今後もそのような事を意識して互いにとって有意義な活動にしたい。